

SSKP はばただより vol.129



はばたけ秋まつり開催!



今年で3回目のはばたけ秋まつり。楽しみにして下さる方も増え、悪天候にも関わらず300名を超えるお客様にご来場いただき、小さな会場が賑わいました。また、はばたけらしい装飾も、日常の活動を垣間見ていただく良い機会となりました。毎年好評のピクリプさんと地域の皆さまのステキなステージと、模擬店、ミニバザーなどの企画も、出演者・ボランティア・ほのぼのネットさん・家族会などのご協力をいただけてのことと感謝しています。

また、今年は「工房時」「野ざきの家」と合同開催となり、「時の焼きうどん」も好評で模擬店も盛況でした。地域の皆さまが自然に集える場として、これからもあったかいはばたけらしい秋まつりを作っていきたいと思います。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



新春のお喜びを申し上げます

社会福祉法人おおぞら会
理事長 西原雄次郎

連携を意識した実践

障害者の権利条約が批准されて約2年が経ちました。また障害者虐待防止法が施行されて約3年強、今年(2016年)4月には障害者差別解消法という新しい法律も施行されます。

心身の障害の社会的側面での障壁を減らすべく、障害者の権利を擁護し、生きやすく暮らしやすい社会環境を整えるための法整備が一応整ったことになります。

私は、多くの皆様もご存じのように、小学生の時に学校の授業中に大けがをしたことが原因で、外傷性骨髄炎という病気になり、左腕が不自由になるという後遺症が残りました。左腕が不自由になることで、日常生活の面で不便なこともあります。これは個人的な努力や、訓練や、そして慣れることや、周囲の人たちの手助けも得て、いつの間にかあまり不便も感じずに生活できるようになりました。

ところが、左腕が不自由であることを理由に、高等学校の受験をさせてもらえないという体験をさせられました。これは個人の努力では乗り越えられない、社会的な障壁が存在したと言えるでしょう。

つまり、心身に障害があることによって、日常生活を送るうえで様々な不便に直面するという側面と、それによって社会的な不利益や生きにくさに直面させられという側面があると言えるでしょう。前者は個人の努力や、適切な医療や教育や訓練によって、後者は社会の側の障壁をなくす努力によって、困難な状況を軽減したり解消したりすることができるということだと思います。

今回の障害者差別解消法は、この後者の社会的な障壁を除くことを大きなテーマとしており、特に地方自治体等の公的な機関には、「合理的な配慮」をすることを義務付けており、私たち民間事業所にはその努力を求めています。

おおぞら会では、これまでも、そしてこれからも、新しい法律の有無にかかわらず、心身に障害があっても誰もが地域社会の一員として普通の暮らしができるよう、そしてそれが続けられるよう、利用者の皆さんの「声」にしっかりと耳を傾けつつ、職員一同気持ちを合わせて必要なことに取り組んでいきたいと思っています。

そのために、当法人では、ご本人やご家族の皆様のご希望に耳を傾け、ご町内はもちろん地域にある様々な関係機関・団体との連携を密にして実践を重ね、個々の職員は常に互いに相談をし合い、情報交換を重ねてより良いサービスの提供と創造に貢献したいと願っています。つまり、個人レベルでも法人レベルでも、自分たちだけで自己完結せずに、様々な「連携」を意識して実践を重ねる年にしていければと願っています。

終わりにになりましたが、新しい年の皆様のご多幸をお祈りし、また今年も変わらぬお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。



小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
早いもので新年が始まりました。野ざきの家では、利用者の方々が「健康」で「その人らしく」生活できる様、今年も支援して参りたいと思っております。

さて、昨年末を振り返ると、地域でのイベントが目白押しでした。野ざきの家としては初めて「はばたけ秋まつり」にてジュースの販売をし、野ざきの家で獲れた「風船かずら」の種をプレゼントとしてお客様にお渡ししました。当日は利用者の皆様も一緒にお手伝いをして下さる予定でしたが、当日の天候がイマイチ、気温も低かったので断念しました…。しかし、当日までの準備で、種を入れる袋をきれいな千代紙で折り、できた袋に「風船かずら」と書いて種を入れて…と、何かしらの形で皆さんが参加することができました。楽しみにされていたステージ鑑賞は室内だったので参加することができ、地域の皆さまと一緒に生演奏を楽しむことができ、充実した時間となりました。

イベントへの参加は、日頃お世話になっている地域の方々と関わりの大切な機会として、これからも積み重ねていきたいと思っております。



12月には恒例のクリスマス会を開催しました。こちらも手作り感満載の「野ざきの家」らしい楽しい会になりました。まずは職員で考えた豪華な料理！皆さん本当に良く食べます（笑）その「食欲」が「健康の秘訣」であるんだなと思いました。職員がお見せした余興では、皆さん大きな口を開け笑っている姿が印象的でした。その「笑う」も「健康の秘訣」であると思います。野ざきの家では「食」と「笑」と「喋る」を大切にされていて、その成果が「健康」に結びつき「その人らしい生活」に繋がっていくものと思っています。プレゼントはお一人お一人に合うものをサンタさんが準備して下さいました。お互い見せ合ったりして大変喜んでいました。皆さんもお子様に行っていた事でもあるので「昔は子どもにやったなあ」としみじみとおっしゃる姿をみて、いつまでも自分の子どもは子どもなんだなと思いました。その思いが年をとっても残っていることは素敵なことですし、その思いはお子様たちにも伝わってるからこそ困ったときに手を貸してくれるのだと思います。各家庭、それぞれの歴史があります。その歴史を大切にすることも支援者として意識しなくてはならないと思いました。



来年度から三鷹市でも「地域包括ケア会議」というものが地域包括支援センターを中心として本格始動していきます。

「地域」を繋いでいく柱となっていくものであり「地域密着型サービス」に位置付けられている「野ざきの家」でも何か地域で出来ることがあるのか？というところを、今年一年模索していきたいと思っています。「地域貢献」の志は社会福祉法人の使命でもあります。「地域に根差した事業所」になるよう今年も邁進して参ります。
(管理者 齋藤貴彦)



工房 時

(就労移行支援事業／就労継続B型)



旅行でのふれあいを通して

新年明けましておめでとうございます。おかげさまで良い新年を迎えることができました。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、工房時では10月1日～2日、秋の那須に行ってきました。「職場会議」で意見を出し合いながら、どこに行くか、どうやって遊ぶか、昼食はどうするか、といったことを決めていき、紆余曲折しながらも、みんなでつくった旅行になりました。

1日目は東武ワールドスクエア、自由の女神、ピラミッド、パルテノン神殿、万里の長城、東京スカイツリー・・・世界中の観光名所や世界遺産を半日で楽しむことが出来ました。記念写真を撮るのに忙しい人、建物を観ながら散策を楽しむ人など様々でした。

夜は恒例の宴会。お酒を酌み交わす人、おしゃべりをする人、カラオケで歌う人・・・みんなで楽しむことが出来て、とても良い交流になりました。部屋に戻ってからも、交流が続いていた人たちもいたようです。

2日目は那須ハイランドパークとどうぶつ王国、二つのグループに分かれて楽しみました。ハイランドパークは都心の遊園地とは違って自然の中にあり、雄大な景色を観ながらアトラクションを楽しむことが出来ました。また、どうぶつ王国では、動物たちを間近に観ることが出来ました。ペンギンやカピバラがとってもかわいかったです。行く先々でお土産を買うのに忙しい人もいました。旅先での買い物は楽しいですね。



所員の皆さんといっしょに遊んで、食べて、お酒を飲んで、語り合って・・・楽しい時間を共有し、関係がさらに深まったように感じます。また様々なことを考えさせられました。一人一人が楽しんでいる姿を見ることはうれしく、ほっこりとした気持ちにさせてくれます。さらに宴会でお酒を酌み交わしている人たちの様子を観て「大人の付き合いをしているなあ」と感じさせられ、頼もしい気持ちになりました。その様子は会社の宴会といった雰囲気でした。



そのことから、つつい「福祉施設の旅行」といった枠で考えていた自分がいたことに気付かされました。仕事をしている場面とは違う時間をいっしょに過ごし楽しむことで、所員のみんなが大人であり社会人であるという、あたり前のことを再確認させられました。いっしょに楽しみながら、心の中で反省している自分がいました。

(管理者 立野信行)

サポートネットあすは

【移動支援[居宅介護]事業】



現在、サポートネットあすはでは、毎月100名ほどの方に移動支援をご利用いただいています。件数で言うと月300～350件です。こうして数字で見ると、これだけ多くの移動支援のニーズがあるということ、そして、たくさんのヘルパーさんに支えられてこそ「サポートネットあすは」だということを実感します。

先日、あるヘルパーの方から「(利用者の)Aさんが、気の合うヘルパーさんとは夕食を食べてから帰りたいなあと話していましたよ。」とガイド報告を受けました。Aさんは土日の日中にガイド利用をされることの多い方です。夕食前にはご自宅に帰られるのですが、この日のヘルパーさんとは「夕飯も一緒に食べたいなあ」と思ったのかもしれません。

また別のヘルパーの方は「ガイドが始まるまでは上手くいくか不安ですが、利用者さんが満面の笑顔で迎えてくれるので、いつの間にか心配も吹き飛んでいます！」とお話されていたことがありました。

多くのヘルパーが関わる中で、Aさんが「気の合うヘルパー」を見つけてくれたとしたら、とても嬉しいことです。そして、私たち職員やヘルパーの方々も利用者の皆さんから、たくさんのことを与えられているのだなと改めて感じたエピソードでした。これこそが移動支援の醍醐味なのかもしれません。これから「サポートネットあすは」が解決していかなければならない課題は沢山ありますが、また気持ちを引き締めて、新たな1年を歩んでいきたいと考えています。

(管理者 鷹觜 綾)



あすはkids

【放課後等デイサービス】

あすはKidsは、障がいのある子どもたちが放課後過ごす場です。子活動室はあるのですが、手ぜまなため、また、体を動かししたい子どもたちが多く、できるだけ戸外に出かけます。

ただ、「秋の日はつるべ落とし」ですので、夕方5時近くになると辺りは暗くなってしまいます。

すでに春が待ち遠しい今日この頃です。(管理者 三浦明雄)



<思い出の多摩川の河辺を散歩中>

★ お願い ★

子供服を譲ってください。サイズは140センチ前後のもので、男の子用です。活動中に汚れたりしたときに着替えるためのものです。新品でなくて構いません。ご提供いただける方は、

あすはKids 0422-36-5151 まで

ご連絡ください!



アクティビティセンター はばたけ

【生活介護事業】

歯みがき上手になろう!

はばたけでは年に1回、三鷹市の取り組みとして歯科衛生士さんに来ていただき、歯科講話の時間をもっていただいています。専門家のお話を聞いたり“習う”という機会は貴重であり、毎年繰り返すことで「大切なんだ」と実感できる人も多いので、このように継続して来ていただけることはありがたいことです。

今年も、歯みがきの大切さをお話いただき、実際に試薬をつけてみがき残しをチェックして正しいみがき方を学びました。実際に赤い液を塗ってもらい、鏡を見て「わー!」と真っ赤な歯に驚く姿、そして白い歯に戻そうと一生懸命みがいてきれいにしたり、となりの友だちと確認し合ったりとにぎやかにみんなで学ぶことができました。日常、歯みがき介助をしている職員にとっても、みがきにくい場所などをあらためて確認することができ、よい機会になりました。おいしくずっと自分の歯で食べられるよう、毎日のケアを大切にしていきたいですね。



三鷹市民駅伝 快走!

今年も出場しました!三鷹市民駅伝。職場で、学校で、仲良しさんで…4名1組で参加するこの駅伝は、毎年人気で抽選にもれてしまうこともあるくらいで、今年は全部で200チームが参加したそうです。はばたけと工房時の合同チームも今年は2チーム当選し、8名+伴走職員たちが三鷹市内を走り抜け、完走することができました。はばたけから参加のAチーム橋本さんは、走っているところをカメラにおさめることができないほど俊足で駆け抜け、運動神経の良さを活かしてタスキをつなげる役目を果たしてくれました。また、Bチーム瀬戸さんはアンカーということで、沿道から「がんばれー」という声をいただき、疲れた体を奮い立たせゴールテープを切り、拍手喝さいを浴びて達成感を味わうことができました。

今年も出場しました!三鷹市民駅伝。職場で、学校で、仲良しさんで…4名1組で参加するこの駅伝は、



後日、ご近所の農園のご主人から「はばたけさん走ってたね。写真撮ったからあげるよ」と沿道から撮ってくださった写真をいただきました。そんなうれしい交流こそが、施設として市民駅伝に参加する意義だとあらためて感じました。

(管理者 入倉暁子)



おおぞら会後援会ニュース

新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、おおぞら会後援会では、今年度も会員拡大のほか、法人の各事業所・関係者の皆様のご尽力により、左記の行事におけるバザー等の収益活動や、また地域とのつながりをつくる取り組みを行ってきました。ご協力いただきました皆様に、あらためて感謝申し上げます。おおぞら会を知っていただくこと、また社会福祉法人運営の大変さなどを伝えながら、応援の輪を広げていけるよう、本年も後援会として一層の努力をしてみたいと思います。後援会員の皆様、お一人お一人の力が集まれば、法人にとってとても大きな支えとなります。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

27年度 主な活動		
5/23	後援会総会・親睦会	
8/9	あすは・Kids 夏祭り	ミニバザー
10/17	はばたけ秋祭り	ミニバザー・模擬店
11/29	社協 福祉バザー	バザー
12/20	あすは・Kids クリスマス	ミニバザー

社会福祉法人おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略）

個人65名、団体1社からご入会・ご更新をいただきました。ありがとうございました。

★後援会へ寄附（敬称略）

5名の方からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

★後援会経由 法人・各事業所へ寄附（敬称略）

個人5名、法人1社からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

（以上、9/1～11/30 集約分）皆様ありがとうございました。

2015年度分

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

「はばただより」郵送分に振込用紙を同封させていただきました。すでに今年度分を納入済みの方にもすべてお配りしておりますので、その旨ご了承ください。



車両：トヨタ ハイエース

～車両のご寄附の御礼～

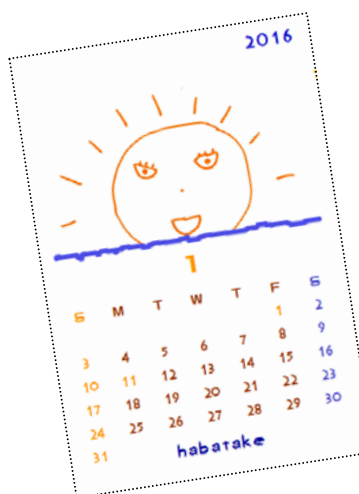
禅林寺龍華会基金さまより、福祉車両のご寄附をいただきました。

現在、「野ざきの家」の送迎業務に大活躍しております。これからも大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。

information

まだ間に合います！ はばたけカレンダー

2016
オリジナル



卓上(木製板付き)カレンダー 1300円
差し替え用カレンダー(板なし) 750円

* てすきの風合いがやさしいカレンダー。どんな空間にも合います！ *

名刺をつくりませんか！

あたたかな風合いのてすき名刺が、
ごあいさつの場を和ませてくれます！

* 1枚 30円 (50枚より注文をお受けします) *

お問い合わせは、はばたけまで。HP もご覧ください。



社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|-----------------------------|---------------|------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房 時 (就労移行事業・就労継続 B 型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野さきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ ショートステイさくら (短期入所事業) | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |

はばたけの裏に新築の戸建て住宅が 3 件建ちました。さっそく 2 件入居が決まり、ともに小さなお子さんのいる若いご夫婦でした。ご挨拶に伺い施設がにぎやかな環境であることなどお伝えすると、「逆に子どもの教育にもなりますから」「元々地元なのでわかっていますから大丈夫ですよ」とあたたかい言葉をいただきました。施設が地域にある…ということの意味をあらためて教えていただいたようで、はっとさせられました。いただいた言葉に応えられるような施設にしていけるよう、今年もがんばらないと！…ですね。みなさまにとって良い年になりますように。本年もよろしくお願いいたします。(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 [頒価 50 円]

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者: 入倉暁子